浦河港地方港湾指定60周年記念式典開催!!
～浦河港　みなと公園において～

北海道開発局　室蘭開発建設部浦河港湾事務所

浦河港は、昭和28年地方港湾に指定を受け、今年60年を迎えました。この節目となる今年8月24日(土)に、浦河港地方港湾指定60周年記念式典が、浦河港みなと公園で執り行われました。

式典では、主催者の式辞、堀井衆議院議員、川合港湾空港部長からの祝辞の後、「北海道開発局　海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を7月24日に受賞した、浦河建設協会の「さわやかな環境守りたい（隊)」の活動内容が、川合部長から紹介されました。続いて、カンラン岩を長年、浦河港から搬出し、浦河港の利用促進に貢献している東邦オリビン工業に池田町長から感謝状が贈られました。最後には、町立浦河東部小学校4年生　新井田美咲さんが、作文朗読を行いました。その他、記念行事として、浦河海上保安署所属の巡視艇「うらずき」での体験航海。

記念式典の様子

浦河町、様似町、えりも町の子ども会による浦河港写生会も行われました。

新井田美咲さんの作文は「うらかわ港　いつもありがとう」という題で港への感謝を思う気持ちを朗読されましたので、ご紹介いたします。

うらかわ港　いつもありがとう

浦河東部小学校　4年　新井田　美咲さん

港は、私たちの暮らしにとても関係しています。

美味しい海産物をとってくれる漁師さんが船を泊めたり、外国から浸入してくる悪い人たちが入れないように防いでいます。

港がないと漁船がでれないので、浦河の新鮮で美味しい魚や貝が食べられません。

また、食べ物だけでなく毎日私達が使っているほとんどのものが港から入ってきます。

東日本大震災の地震で津波がきたときは、大きな波が港に入ってこないように防波堤でブロックして私たちを守ってくれました。

これからも日々の生活と安全のために私達を見守っていて下さい。

うらかわ港　ありがとう

新井田美咲さんの作文朗読